

ごあいさつ



YMCAがイギリスのロンドンで創始されて170年余り、日本では銀座の地で活動を開始してから135年が経とうとしています。世紀をまたがる長きにわたり、より良い社会を創るために活動し続けている稀有な団体といえましょう。現在、YMCAの活動地域は世界120カ国に広がっていますが、YMCAには人々を集める求心力があり、どの国においても多くの人たちの関わりの中で運営が展開されています。これはYMCAが人と人を結びつけ、各人の持てる力を引き出すことに長けていること、またYMCAに関わるのが理屈ぬきに楽しいと感じている人が多いことの証ではないかと思えます。

不安や悲哀に満ちた現代ですが、それを嘆くばかりでなく、私たち一人ひとりが、また企業や団体が、未来を次世代に繋いでいく責任を自覚し、他者のために知恵と力を使っていくことを意識しなければなりません。しかし孤立した努力ではなく、志を共有する仲間とともに、明るく楽しく行動しなければ続かないでしょう。個人のボランティア、企業、教育機関等を有機的に結びつけて多様な公益活動を担っているYMCAが、色褪せることなく、時代を超えて継続してきた鍵はここにあり、今日の社会で、YMCAはますます必要とされる存在であると確信しております。

賛助会員の皆様におかれましては、引き続き東京YMCAをご支援いただき、次世代を育てるための働きに参画することをお願いする次第です。

東京YMCA賛助会会長
経済同友会 終身幹事
日本アイ・ビー・エム株式会社相談役

北城 恪太郎

賛助会員の皆様には、平素より東京YMCAの諸活動に格別なるご理解とご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。多くの皆様に温かなお励ましをいただき、社会で必要とされる働きを進め、お陰様で東京YMCAは本年135年の節目を迎えることができました。

少子高齢社会にあり、また社会の急激な変化の中で、子育てを取り巻く環境は一層厳しさを増しているように感じられます。自分の居場所がないと感じている子ども達、また地域社会に支援を求められず仕事や育児に過度のストレスをかかえる大人たちの姿も見えてまいります。様々な課題を持つ子ども達もYMCAにはたくさん通ってきますが、YMCAで人と関わり、心豊かな時間を経験した子ども達の目が生き生きと変わってくるのを見る時、また私たちの活動を支える大人たちの存在の有難さを実感する時、多くの方たちからいただいている期待を覚え、その責任に身が引き締まる思いがいたします。私たちの使命に常に立ち返り、YMCAだからこそ担うことのできる諸活動に一層邁進していく所存です。

賛助会法人の皆様のご協力に感謝し、引き続きのご指導とご支援をお願い申し上げます。

公益財団法人東京YMCA代表理事
総主事

廣田光司



賛助会役員



会長	北城 恪太郎	経済同友会 終身幹事・日本アイ・ビー・エム株式会社 相談役
次期会長	氏家 純一	野村ホールディングス株式会社 名誉顧問
名誉会長	橋本 徹	株式会社日本政策投資銀行 相談役
理事	山本 忠人	富士ゼロックス株式会社 代表取締役会長
理事	牛尾 治朗	ウシオ電機株式会社 代表取締役会長
理事	ロバートL・ノディン	A I U損害保険株式会社 日本における代表者 CEO
理事	茂木 友三郎	キッコーマン株式会社 取締役 名誉会長 取締役会議長
理事	大枝 宏之	株式会社日清製粉グループ本社 代表取締役 取締役社長
理事	大谷 和彦	株式会社ニューオータニ 代表取締役社長
理事	五十嵐 素一	株式会社白洋舎 代表取締役社長
理事	廣田 康人	三菱商事株式会社 代表取締役常務執行役員
理事	飯島 延浩	山崎製パン株式会社 代表取締役社長

歴代賛助会会長

初代	安川 第五郎	(元日本原子力発電 会長)
第2代	田實 渉	(元三菱銀行)
第3代	駒井 健一郎	(元日立製作所)
第4代	小山 五郎	(元三井銀行)
第5代	佐波 正一	(元株式会社東芝 特別顧問)
第6代	橋本 徹	(株式会社日本政策投資銀行相談役)
第7代	北城 恪太郎	(経済同友会 終身幹事・日本アイ・ビー・エム株式会社 相談役)
第8代	氏家 純一	(野村ホールディングス株式会社 名誉顧問)

* 2015年7月15日東京YMCA賛助会会長就任

2015年度 表彰賛助会員

継続 35年	キッコーマン株式会社
継続 25年	辰巳マリン株式会社
	天馬株式会社
継続 20年	株式会社帝国ホテル
新入会員	FVイーストジャパン株式会社

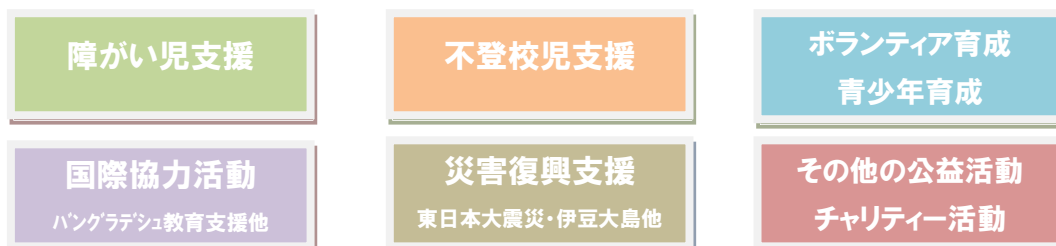


会費・ご寄付によるご支援

2014 年度も東京 Y M C A の諸活動にご支援とお励ましをいただき、心より感謝申し上げます。

● 個人会費・賛助会費 (2014 年度個人会費 ¥12,816,677 賛助会費 ¥9,180,000)

Y M C A の使命・趣旨にご賛同いただいた個人、企業、団体に、会費によるご支援をいただいております。以下の活動を中心に、東京 Y M C A の公益活動に用いました。



● フレンドシップファンド (2014 年度募金額 ¥1,872,072 支援実績 8 名)

経済的に困難なご家庭の子どもや養護施設の子もたちに、キャンプなどの Y M C A の活動参加費を援助し、心身の豊かな成長に繋がるかけがえのない体験を提供することができました。

● 国際協力募金 (2014 年度募金額 ¥2,896,408)

バングラデシュの働く子ども達への奨学金など、アジアの子ども達の教育支援をはじめ、世界 Y M C A のネットワークを生かした国際協力活動、留学生支援、青少年育成事業に用いました。

● 東日本大震災復興支援募金 (2014 年度募金額 ¥12,769,122)

Y M C A 石巻支援センターを中心に、東京 Y M C A が行っている東日本大震災、及び原発事故によって被災した子ども達や高齢者の方々を支援する、多様なボランティア活動を行いました。

● 広島市豪雨災害緊急支援募金 (2014 年度募金額 ¥223,525)

2014 年 8 月 20 日に発生した豪雨災害により被害を受けた広島への支援として、募金の協力を呼びかけました。広島 Y M C A に送金し、現地でのボランティア派遣、支援活動に用いました。

● インターナショナル・チャリティーラン (2014 年度支援額 ¥8,519,190)

障がい児支援を目的とし、楽しみながら参加できる社会貢献プログラムとして好評をいただいております。28 回目となり、当日は 85 チーム、ボランティアを含め約 1500 名が参加しました。子ども達がコースを走りチャリティーの意味を体感する「こどもラン」も好評でした。



● 遺贈による寄付制度

遺言書により、東京 Y M C A に財産の一部を寄付する制度で、提携している信託銀行が、法に則り遺言書作成、保管、実現を手伝います。